

FUJIEDA ROTARY CLUB

藤枝ロータリークラブ会報

事務局：藤枝市青木1-9-16 TEL：054-647-2300 FAX：054-647-2040
例 会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-2-48 TEL：054-641-3321



ボケの花

写真提供：鈴木舜光君

会長：松葉 隆夫 副会長：石垣 善康 幹事：増田 國衛 副幹事：酒向 謙次

第1855回



2009-2010年度 RIテーマ

ロータリーの未来は
アナタの手の中に

ジョン・ケリー

<ソング> 君が代・奉仕の理想
<ソングリーダー> 池ノ谷 敏正君

会長報告

松葉 隆夫君

今日は、昨日の雨が嘘の様な素晴らしい天気になり、汗ばむ様な1日になりました。今年は4月、5月は暑い日があったり、寒い日があったり変化の激しい日々になり、農作物に被害が続出しております。

私事ですが、茶も、もろに被害を受け、生産量が前年対比60%～70%位になる予想です。そんな事で単価も安くやりにくい(商売)年になっております。朝3時に起き、夜9時迄の仕事が3日前より始まり、いよいよ最盛期に入ってきました。頑張る一週間だと思います。

良い茶がとれ、お客様に喜んで頂けるよう頑張つてやります。

会長職もあと2ヶ月を残すところとなり、最終スパートです。

本当に良く続いていると思い、皆様の協力に感謝しているところです。次期会長の石垣君にバトンタッチしたいと思います。

理事会報告

増田 國衛君

- 5、6月のプログラムが承認されました。
- 最終夜間例会は6月23日18:00より小杉苑にて行う事に決定致しました。

内容についてはこれから検討し決めていく事になりました。

- 次年度のテーブルメイトの配属が決定致しました。
- 次回の理事会は新旧合同理事会となり6月2日(水)11時より行う事に決まりました。

幹事報告

増田 國衛君

- 藤枝市緑をすすめる会より、『第72回植木まつり花と緑のフェスタ in ふじえだ』の開催の案内ならびに「緑の募金運動」への協力の依頼が届いております。
- 藤枝市吹奏楽団より、「第30回定期演奏会の案内」が届いております。

入会式



氏名：池谷 佳典

勤務先名：(株)NTT西日本 - 東海 藤枝営業所

役職名：所長

主要業務：電話事業

出席報告

鈴木 勝弘君

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
31 / 42 73.81%	31 / 40 77.5%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

酒井君 鈴木廣君 仲田廣君 萩田君
板倉君 落合君 鈴木舜君 仲田晃君 水野君
望月志君 渡辺君

ビジター

小山 明良君(藤枝南)

スマイルBOX

鈴木 勝弘君

- ありがとうございます。50代最後の年「青春？」を謳歌します。

結婚記念日ありがとうございます。35年経ちました。二人で「何年経った？」と聞き合っていました。

大塚 博巳君

- 妻の誕生日をありがとうございます。

杉山 静一君

- 妻がバラの花に感動していました。“ロータリーっていいとこだね”との事です。本当にありがとうございました。

島村 武慶君

- 結婚祝、いつも感謝しています。 酒向 謙次君

- 結婚祝をありがとうございます。 柳原 寿男君

スマイル累計額 544,000円

■ テーブルメイトE担当

写真・カメラの歴史

櫻井 龍太君



1837年(天保9年)

フランスのダゲールが、銀板写真を発明した。

1888年(明治21年)

アメリカのコダック社が、ロールフィルムを開発した。

1932年(昭和7年)

ドイツのアグファ社が、カラーフィルムを開発した。

1970年(昭和45年)

この頃から、カメラの自動化が始まり、1985年にミノルタが、フルオート・カメラを発売し、自動化が完成した。

1981年(昭和56年)

ソニー社が、デジタルカメラを発表し、デジカメ時代がはじまった。

写真撮影にあたって

1. 光をよむ
2. 距離・絞り・シャッター

デジカメ選びについて

1. レンズを確認する
2. 映像素子の確認
3. 露出補正機能について



PET/CTについて

柳原 寿男君

ブドウ糖の一部に、ポジトロンという陽電子を放出する特殊な放射性同位元素をくっつけて、体内に投与(注射)し、放出された放射線の吸収分布を撮影する検査です。

がん細胞は、正常細胞よりも多くのエネルギーを必要とするので、がん細胞は正常細胞よりも、より多くのブドウ糖を取り込むため、PET検査を行うと、がんの部位は陽性像となって、がんを見つけることができます。

PETの長所は、

全身の検査が簡便にできること。

病変をコントラスト良く描けること。

腫瘍の種類によらず検出できること。

即ち、様々な悪性腫瘍の全身の病巣を、一回の検査で調べられる利点です。そしてPETとCTを同時に撮ることで、局所診断も可能にしました。

他方、PETの注意点は血糖値が影響することである。糖尿病の患者では、組織と腫瘍とのコントラストが低下し、腫瘍の検出能が低下することがある。(不可能になるわけではない)又、過激な運動後のような負荷のかかった骨格筋にも集積することがある。1cm以上の大きさのがんが発見されることが多く、逆に1cm以下の病変は発見できない場合もある。内視鏡検査の方が、早期の食堂がん、胃がんの粘膜病変の異常を指摘でき、有用性がある。又、検査に使う薬剤(FDG)は尿中に排泄されるため、腎臓から尿管、膀胱にはFDGの強い「生理的集積」がみられ、そのため腎・尿管がん、膀胱がん、前立腺がんでは病変の検出が難しくなる。

一般的には、PET/CTはがん転移やがんの術後、放射線治療後などの再発(診断)や治療効果判定に有効性が高いと言われている。

(担当/池ノ谷)